

名古屋市2万人会員増強運動 「なごやかクラブ名古屋」～広げよう仲間づくりの輪～ ⑬

◆名東区なごやかクラブ連合会の取り組み

「今日という日は、明日を気持ちよく迎えるためにある」中日ドラゴンズOB 会長鈴木孝政氏がお話しされています。ここは名東福祉大学校教養講座の会場です。今回は、鈴木孝政氏を講師に迎え「私の野球人生」を演題として、入団の経緯から引退試合までの野球人生を面白おかしく語られていました。参加者の皆さんは、話に引き込まれ、熱心に耳を傾けていました。



名東区なごやかクラブ連合会では、毎年9月から12月にかけて5回程の教養講座を開設しています。43回目を迎えた30年度は、相撲甚句の講演、ギター・マンドリンの演奏会、揚輝荘の見学等多彩なメニューで、毎回150名～210名の参加があります。この教養講座は、名古屋市16区で唯一のものであり、会員の交流の場と意欲向上の場となっています。

また会員増強運動の取り組みとして、親しみやすく入りやすくするため、区、学区の呼称を「老人クラブ連合会」から「なごやかクラブ連合会」とされました。区役所、区政協力委員会等にも周知し、会議等における名称も「なごやかクラブ連合会」と表記していただける

ようになりました。

その他機関紙「なごやかメイト」を毎月発行し、会員へきめ細かな情報提供を行う一方、ホームページを開設し迅速な情報伝達を行っています。

このような取り組みの結果、長年減少が続いていた会員数を、増加へと転じることができました。



名東区なごやかクラブ連合会
長尾 会長

長尾会長に今後の活動についてお聞きしたところ、「会員を増やすには、『なごやかクラブ』と学区区政協力委員会・民生委員会との連携、協力が必要です。今年度は9月敬老祝賀会に焦点を当て、入会のリーフレットを作成、区政・民生委員の方に祝賀会案内またはお祝いの品に添えて渡していただき、新会員の募集を行います。今後も『勧めやすい、入りやすい』なごやかクラブを作っていきたい」と抱負を述べました。

名東区「なごやかクラブ」に入会しましょう！

学区の「なごやかクラブ」に、お友達を誘って入りましょう。勿論おひとりでも入会可能です。お好きな活動だけにでも参加すれば「健康寿命」を延ばす夢が実現します。

【あなたも参加できるこの秋の名東区「なごやかクラブ」の主な活動】

- ★秋の収穫祭 区政所連合会ほか
- ★9月10日 敬老祝賀会
- ★10月1日 敬老祝賀会
- ★10月24日 敬老祝賀会
- ★11月22日 ワークショップ
- ★交通安全川柳大会 名東文化小劇場
- ★12月1日 新年会

★学区の行事も積極的に参加してください！

★学区の行事も積極的に参加してください！

【入会の方】

- ★年齢60歳以上
- ★名古屋市に在住（転居後30日以内）
- ★健康上の問題（医師）を大別とする人の場合は不可

【入会の方法】

- ★学区の事務室までお申し込みください。
- ★お申し込み後、お電話でご確認ください。

【会員の皆様へ】

- ★クラブ活動や行事参加、お祝いなどに積極的に参加してください。

< 連絡先 >

学区： _____

会 員： _____

電 話： _____

秋の収穫祭(区政所連合会) 趣味の作品展 交通安全(川柳大会)

勧誘チラシ

て、入会のリーフレットを作成、区政・民生委員の方に祝賀会案内またはお祝いの品に添えて渡していただき、新会員の募集を行います。今後も『勧めやすい、入りやすい』なごやかクラブを作っていきたい」と抱負を述べました。

「在宅福祉を支える友愛活動」セミナー

第24回 在宅福祉を支える友愛活動セミナー



東京都・全国社会福祉協議会
会議室で開催

全老連主催の「在宅福祉を支える友愛活動セミナー」が1月30日・31日に東京で開催され、名古屋市老連からは3名が参加しました。

1日目は、はじめに厚生労働省老健局振興課課長補佐の内山徹氏から「高齢者関連施策と

老人クラブへの期待」と題する行政説明が行われました。つづいて、谷野香全老連事務局長から「新地域支援事業」と「老人クラブがめざす友愛活動」と題して基調報告があり、全老連では「高齢者を取り巻く社会情勢」として「健康寿命の延伸」「地域共生社会の構築」を提唱しており、「新地域支援事業参画に向けた取り組み」において、これからめざす友愛活動での、5つの支援をとおして、更なる推進が必要との説明がありました。

その後、3つのクラブから「老人クラブが取り組んでいる地域支え合い」についての活動事例発表がありました。

2日目は、グループに分かれ、「友愛活動の実践」をテーマに意見交換を行った後、全体会で発表を行い、その後神奈川県立保健福祉大学顧問の山崎美貴子氏から「強い地域社会を創る～一人一人の実践に感謝を込めて～」と題する講演があり、地域活動の大切さについて説明され、老人クラブには積極的に助け合い活動に関わってほしいと語られました。

その後、齊藤全老連常務理事からの友愛活動に対して励ましの言葉を最後に閉会となりました。

(健康福祉委員 西区・平野 勝昭、昭和区・佐久間喜良)